

## 調査結果の概要

# 1 産地上場水揚量、上場水揚価額及び卸売価格の動き（42漁港）

平成20年の調査対象漁港における上位品目の上場水揚量の動向をみると、前年に比べさんま（対前年比119%）、ほっけ（同113%）等は増加したものの、するめいか（生鮮）（同63%）、びんなが（生鮮）（同63%）等は減少した。

同様に上場水揚価額の動向をみると、前年に比べほっけ（対前年比164%）、まあじ（同118%）等は増加したものの、するめいか（生鮮）（同64%）、するめいか（冷凍・近海）（同79%）等は減少した。

また、卸売価格については、ほっけ（対前年比145%）、びんなが（生鮮）（同135%）等は上昇したものの、さんま（同89%）、するめいか（冷凍・近海）（同92%）等は低下した。

（表1）

表1 品目別上場水揚量、上場水揚価額及び卸売価格（上場水揚量上位品目）

品目 年月	さば類	さんま	かつお (冷凍)	ほっけ	まあじ	かたくち いわし	かつお (生鮮)	するめいか (生鮮)	するめいか (冷凍・近海)	びんなが (生鮮)
上場水揚量（t）										
20.1	23 792	217	17 805	13 243	6 200	5 644	380	2 471	1 867	2 679
2	11 968	7	13 332	9 781	4 961	17 348	813	3 665	204	2 343
3	17 614	2	21 298	12 530	8 515	18 000	1 008	277	79	2 308
4	17 025	1	18 038	11 405	11 465	16 277	2 709	207	137	1 627
5	28 945	1	21 859	7 890	13 015	11 938	7 117	191	1	1 027
6	19 913	21	22 445	8 388	9 656	3 682	18 491	725	94	13 568
7	59 046	1 685	26 177	1 867	11 602	4 575	20 904	1 549	3 146	3 052
8	43 382	18 231	18 969	5 194	7 043	1 604	8 931	4 987	3 298	688
9	59 668	71 269	14 173	9 047	7 902	1 196	7 657	11 421	12 446	367
10	55 615	92 712	10 598	14 306	6 635	3 414	7 106	9 011	9 499	427
11	63 588	72 929	14 461	11 804	5 346	2 725	600	9 443	7 205	882
12	48 916	49 951	8 873	13 045	3 446	8 937	329	8 281	5 635	1 963
平成20年合計	449 474	307 024	208 028	118 498	95 787	95 339	76 045	52 229	43 611	30 932
平成19年合計	411 224	257 871	224 206	104 951	95 099	125 098	72 884	83 443	50 491	48 717
対前年比(%)										
20/19	109	119	93	113	101	76	104	63	86	63
上場水揚価額（百万円）										
20.1	2 271	13	3 292	415	1 037	323	100	417	386	879
2	1 435	1	2 426	347	1 089	1 210	329	511	46	919
3	1 939	0	3 924	616	1 438	927	632	93	16	907
4	2 013	0	3 466	747	2 603	970	1 277	78	31	589
5	2 491	0	4 804	732	3 353	594	2 689	47	0	351
6	1 848	3	4 935	694	2 803	201	4 701	118	20	3 528
7	4 714	873	5 392	236	2 827	207	5 032	344	639	814
8	3 485	3 848	4 136	465	1 663	71	3 164	1 020	789	280
9	4 675	5 481	3 144	628	1 393	32	2 713	1 493	2 601	231
10	4 996	5 435	1 950	608	1 132	111	2 045	1 322	1 998	274
11	4 942	3 066	2 571	621	943	69	253	1 579	1 560	465
12	3 992	1 300	1 674	408	834	162	91	1 425	1 255	890
平成20年合計	38 802	20 021	41 714	6 518	21 117	4 877	23 027	8 447	9 342	10 128
平成19年合計	33 565	18 778	36 536	3 980	17 892	5 382	20 074	13 235	11 754	11 806
対前年比(%)										
20/19	116	107	114	164	118	91	115	64	79	86
卸売価格（円）										
20.1	95	61	185	31	167	57	264	169	207	328
2	120	77	182	35	220	70	405	139	226	392
3	110	113	184	49	169	51	627	337	207	393
4	118	146	192	65	227	60	471	375	225	362
5	86	244	220	93	258	50	378	245	264	342
6	93	168	220	83	290	55	254	163	214	260
7	80	518	206	126	244	45	241	222	203	267
8	80	211	218	90	236	44	354	204	239	407
9	78	77	222	69	176	27	354	131	209	629
10	90	59	184	43	171	33	288	147	210	642
11	78	42	178	53	176	25	422	167	217	527
12	82	26	189	31	242	18	275	172	223	453
平成20年合計	86	65	201	55	220	51	303	162	214	327
平成19年合計	82	73	163	38	188	43	275	159	233	242
対前年比(%)										
20/19	105	89	123	145	117	119	110	102	92	135

(1) さば類（19漁港）

上場水揚量は44万9,474tで、前年に比べ9%増加した。

上場水揚価額は388億200万円で、前年に比べ16%増加した。

1kg当たりの卸売価格は86円で、前年に比べ5%上昇した。

上場水揚量の漁港別構成割合をみると、銚子（千葉）が29.7%と最も高く、次いで松浦（長崎）が11.4%、八戸（青森）が9.4%となっている。（表1、図1、2）

図1 さば類の上場水揚量  
及び卸売価格の推移（平成20年）

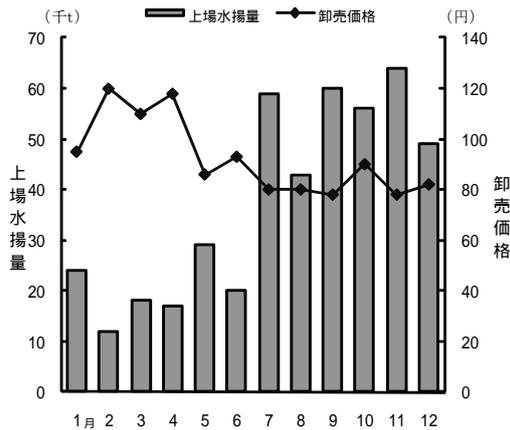
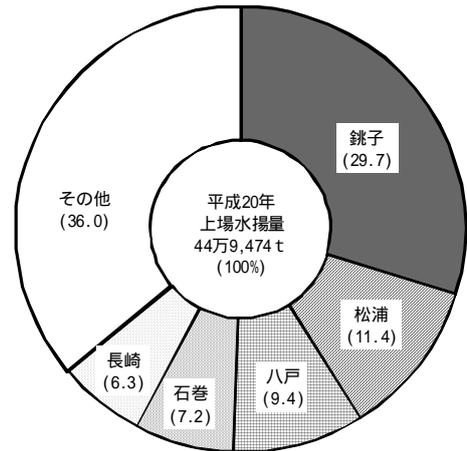


図2 さば類の上場水揚量  
の漁港別構成割合



(2) さんま（15漁港）

上場水揚量は30万7,024tで、前年に比べ19%増加した。

上場水揚価額は200億2,100万円で、前年に比べ7%増加した。

1kg当たりの卸売価格は65円で、前年に比べ11%低下した。

上場水揚量の漁港別構成割合をみると、根室（北海道）が18.7%と最も高く、次いで銚子（千葉）が17.2%、女川（宮城）が15.8%となっている。（表1、図3、4）

図3 さんまの上場水揚量  
及び卸売価格の推移（平成20年）

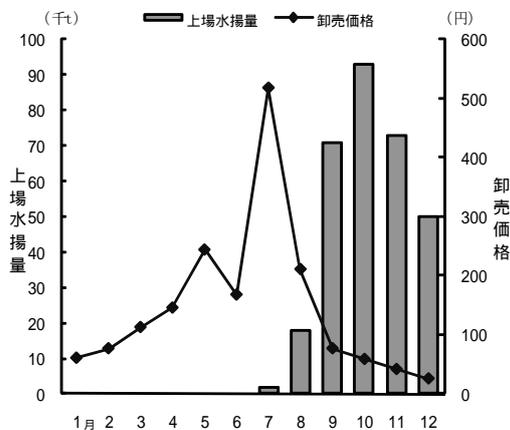
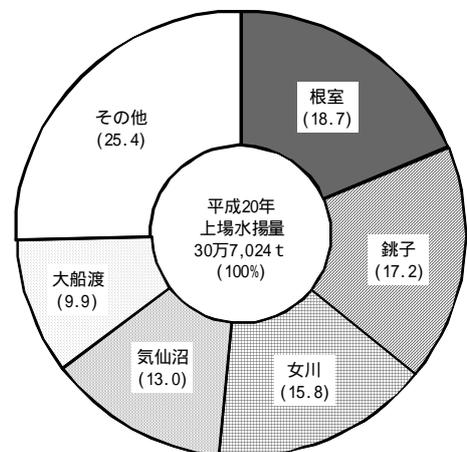


図4 さんまの上場水揚量  
の漁港別構成割合



(3) かつお（冷凍）(12漁港)

上場水揚量は20万8,028tで、前年に比べ7%減少した。

上場水揚価額は417億1,400万円で、前年に比べ14%増加した。

1kg当たりの卸売価格は201円で、前年に比べ23%上昇した。

上場水揚量の漁港別構成割合をみると、焼津（静岡）が57.7%と最も高く、次いで枕崎（鹿児島）が17.8%、山川（鹿児島）が10.4%となっている。（表1、図5、6）

図5 かつお（冷凍）の上場水揚量及び卸売価格の推移（平成20年）

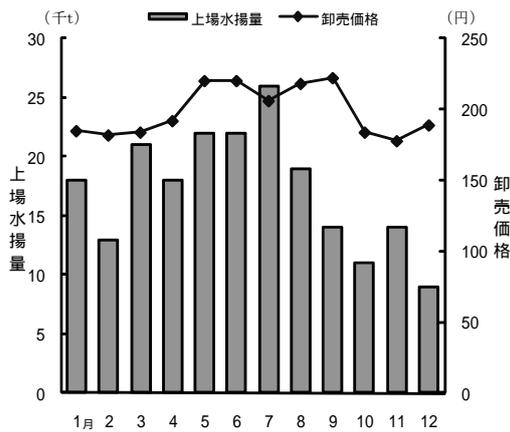
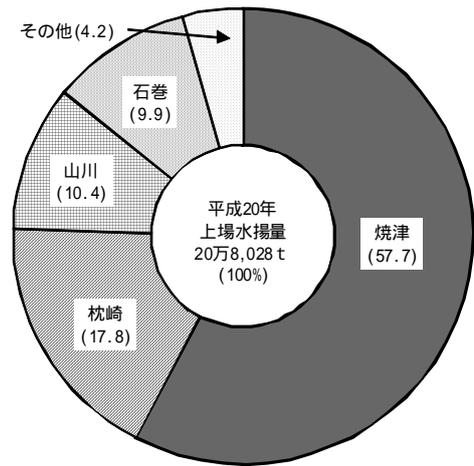


図6 かつお（冷凍）の上場水揚量の漁港別構成割合



(4) ほっけ（8漁港）

上場水揚量は11万8,498tで、前年に比べ13%増加した。

上場水揚価額は65億1,800万円で、前年に比べ64%増加した。

1kg当たりの卸売価格は55円で、前年に比べ45%上昇した。

上場水揚量の漁港別構成割合をみると、小樽（北海道）が40.6%と最も高く、次いで稚内（北海道）が30.5%、紋別（北海道）が17.2%となっている。（表1、図7、8）

図7 ほっけの上場水揚量及び卸売価格の推移（平成20年）

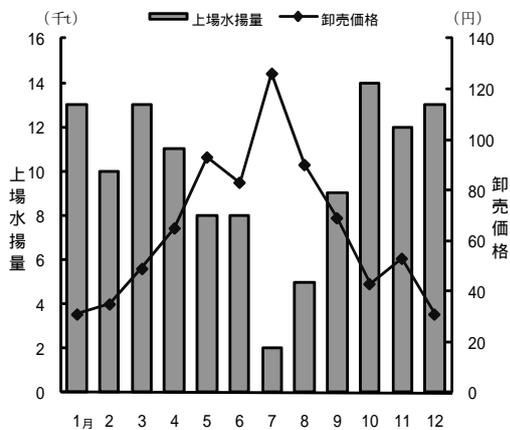
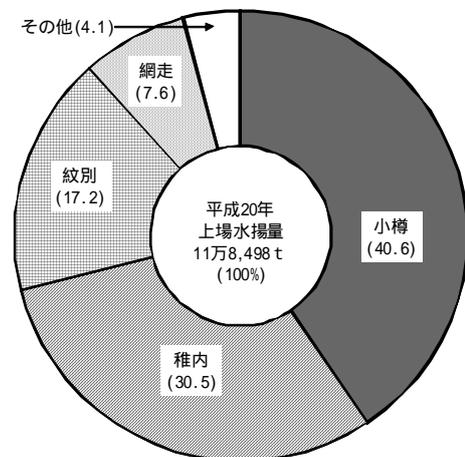


図8 ほっけの上場水揚量の漁港別構成割合



## 2 用途別出荷量の動き（32漁港）

平成20年の水産物の出荷量（19品目、32漁港）は130万2,947 tで、前年に比べ2.7%減少した。

これを用途別にみると、食用向けはさば類等が増加したものの、するめいか（生鮮）等が減少したため102万2,500 tとなっており、前年に比べ5.1%減少した。

また、非食用向けはかたくちいわし等が減少したものの、さば類等が増加したため28万447 tとなっており、前年に比べ7.5%増加した。

このことから用途別出荷割合は食用向けが78.5%で、前年に比べ2.0ポイント低下した。（表2）

表2 用途別出荷量（出荷量上位品目）

品目	平.20					対前年比(ポイント差)				
	出荷量計	食用向け			非食用向け	出荷量計	食用向け			非食用向け
		計	生鮮食用向け	加工向け			計	生鮮食用向け	加工向け	
出荷量計	t	t	t	t	t	%	%	%	%	%
合計	1 302 947	1 022 500	388 460	634 040	280 447	97.3	94.9	93.8	95.5	107.5
生鮮品計	1 070 885	790 746	338 920	451 826	280 139	100.0	97.5	98.5	96.8	107.6
うち かつお	56 558	56 541	36 997	19 544	17	94.7	94.7	91.1	102.4	130.8
さけ・ます類	39 214	39 112	6 718	32 394	102	68.0	68.0	67.3	68.2	68.0
かたくちいわし	79 673	17 339	4 669	12 670	62 334	90.5	96.1	150.2	84.9	89.1
まあじ	100 381	71 062	34 398	36 664	29 319	101.8	107.8	105.9	109.6	89.7
さば類	411 223	286 431	92 402	194 029	124 792	116.5	113.3	101.7	119.9	124.4
さんま	222 593	161 640	60 763	100 877	60 953	117.3	114.2	116.5	112.8	126.3
するめいか	54 851	54 431	29 262	25 169	420	62.6	63.0	91.4	46.3	34.9
冷凍品計	232 062	231 754	49 540	182 214	308	86.7	86.8	70.8	92.4	68.4
うち かつお	176 351	176 351	15 937	160 414	-	89.5	89.5	49.8	97.2	-
するめいか	34 015	33 707	12 097	21 610	308	79.6	79.7	91.8	74.2	68.4
出荷割合	%	%	%	%	%					
合計	100.0	78.5	29.8	48.7	21.5	( - )	( 2.0 )	( 1.1 )	( 0.9 )	( 2.0 )
生鮮品計	100.0	73.8	31.6	42.2	26.2	( - )	( 1.9 )	( 0.5 )	( 1.4 )	( 1.9 )
うち かつお	100.0	100.0	65.4	34.6	0.0	( - )	( 0.0 )	( 2.6 )	( 2.6 )	( 0.0 )
さけ・ます類	100.0	99.7	17.1	82.6	0.3	( - )	( 0.0 )	( 0.2 )	( 0.2 )	( 0.0 )
かたくちいわし	100.0	21.8	5.9	15.9	78.2	( - )	( 1.3 )	( 2.4 )	( 1.1 )	( 1.3 )
まあじ	100.0	70.8	34.3	36.5	29.2	( - )	( 3.9 )	( 1.4 )	( 2.6 )	( 3.9 )
さば類	100.0	69.7	22.5	47.2	30.3	( - )	( 1.9 )	( 3.2 )	( 1.4 )	( 1.9 )
さんま	100.0	72.6	27.3	45.3	27.4	( - )	( 2.0 )	( 0.2 )	( 1.8 )	( 2.0 )
するめいか	100.0	99.2	53.3	45.9	0.8	( - )	( 0.6 )	( 16.7 )	( 16.2 )	( 0.6 )
冷凍品計	100.0	99.9	21.3	78.5	0.1	( - )	( 0.1 )	( 4.9 )	( 4.8 )	( 0.1 )
うち かつお	100.0	100.0	9.0	91.0	-	( - )	( - )	( 7.3 )	( 7.3 )	( - )
するめいか	100.0	99.1	35.6	63.5	0.9	( - )	( 0.2 )	( 4.8 )	( 4.6 )	( 0.2 )

注：1 出荷割合の対前年比（ポイント差）は、平成20年から平成19年の用途別出荷割合を引いたポイント差である。

2 出荷割合については、四捨五入の関係で合計と内訳の計が一致しない場合がある。

(1) さば類

用途別にみた出荷量割合は、生鮮食用向けは22.5%で前年に比べ3.2ポイント低下し、食用加工向けは47.2%、魚油・飼肥料向けは1.6%、養殖用又は漁業用餌料向けは28.7%で、それぞれ前年に比べ1.4ポイント、0.5ポイント、1.4ポイント上昇した。(表2、3)

表3 さば類の用途別出荷量(平成20年)

区 分	出荷量計	食用向け			非食用向け		
		小計	生鮮食用 向 け	食用加工 向 け	小計	魚油・飼 肥料向け	養殖用又は漁 業用餌料向け
用途別出荷量(t)	411 223	286 431	92 402	194 029	124 792	6 744	118 048
構成割合(%)	100.0	69.7	22.5	47.2	30.3	1.6	28.7
対前年差(ポイント)	-	1.9	3.2	1.4	1.9	0.5	1.4

注：表示単位未満を四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しない場合がある。(以下の各表において同じ。)

(2) さんま

用途別にみた出荷量割合は、魚油・飼肥料向けは16.3%で前年に比べ2.3ポイント上昇し、生鮮食用向けは27.3%、食用加工向けは45.3%、養殖用又は漁業用餌料向けは11.1%で、前年に比べそれぞれ0.2ポイント、1.8ポイント、0.4ポイント低下した。(表2、4)

表4 さんまの用途別出荷量(平成20年)

区 分	出荷量計	食用向け			非食用向け		
		小計	生鮮食用 向 け	食用加工 向 け	小計	魚油・飼 肥料向け	養殖用又は漁 業用餌料向け
用途別出荷量(t)	222 593	161 640	60 763	100 877	60 953	36 229	24 724
構成割合(%)	100.0	72.6	27.3	45.3	27.4	16.3	11.1
対前年差(ポイント)	-	2.0	0.2	1.8	2.0	2.3	0.4

(3) かつお(冷凍)

用途別にみた出荷量割合は、生鮮食用向けは9.0%で、前年に比べ7.3ポイント低下し、食用加工向けは91.0%で、前年に比べ7.3ポイント上昇した。(表2、5)

表5 かつお(冷凍)の用途別出荷量(平成20年)

区 分	出荷量計	食用向け			非食用向け		
		小計	生鮮食用 向 け	食用加工 向 け	小計	魚油・飼 肥料向け	養殖用又は漁 業用餌料向け
用途別出荷量(t)	176 351	176 351	15 937	160 414	-	-	-
構成割合(%)	100.0	100.0	9.0	91.0	-	-	-
対前年差(ポイント)	-	-	7.3	7.3	-	-	-

(4) まあじ

用途別にみた出荷量割合は、生鮮食用向けは34.3%、食用加工向けは36.5%、魚油・飼肥料向け0.1%で、前年に比べそれぞれ1.4ポイント、2.6ポイント、0.1ポイント上昇し、養殖用又は漁業用餌料向け29.1%で、前年に比べ4.0ポイント低下した。(表2、6)

表6 まあじの用途別出荷量(平成20年)

区 分	出荷量計	食用向け			非食用向け		
		小計	生鮮食用 向 け	食用加工 向 け	小計	魚油・飼 肥料向け	養殖用又は漁 業用餌料向け
用途別出荷量(t)	100 381	71 062	34 398	36 664	29 319	79	29 240
構成割合(%)	100.0	70.8	34.3	36.5	29.2	0.1	29.1
対前年差(ポイント)	-	3.9	1.4	2.6	3.9	0.1	4.0

### 3 冷凍・冷蔵工場月末在庫量等の動き

平成20年の調査対象冷凍・冷蔵工場の月間在庫量（年平均値）は41万9,017 tで、前年に比べ4%減少した。

月間出庫量（年平均値）は41万3,587 tで、前年に比べ6%減少した。

月末在庫量（年平均値）は117万3,224 tで、前年に比べ2%減少した。（表7）

表7 品目別月間入・出庫量及び月末在庫量の年平均値の推移（月末在庫量年平均値の上位品目）

品目 年次	単位：t												
	計	冷凍品	さば類	さけ類	えび類	するめいか	さんま	すけとうだら すり身	まあじ	かつお	かれい類	塩蔵品	たらこ
月間在庫量 (年平均値)													
平・16	487 846	399 324	27 513	32 727	30 628	12 766	12 203	18 134	14 255	18 717	8 504	30 476	4 477
17	465 129	380 239	37 147	32 401	29 992	12 026	11 169	15 784	10 340	18 762	8 224	28 373	4 313
18	451 058	366 772	38 099	31 110	28 815	11 484	10 701	14 390	9 880	17 978	6 936	28 258	4 574
19	434 823	350 027	30 501	29 162	25 820	13 623	12 744	12 985	9 952	18 261	6 793	26 641	4 873
20	419 017	342 079	33 678	28 449	24 328	12 802	17 164	14 579	9 038	17 733	7 796	25 245	5 165
対前年比(%) 20/19	96	98	110	98	94	94	135	112	91	97	115	95	106
月間出庫量 (年平均値)													
平・16	490 135	402 445	27 446	32 468	30 333	13 695	13 625	18 633	14 533	17 505	8 778	30 179	4 423
17	463 038	377 601	34 943	30 931	29 865	11 873	10 597	16 044	10 984	19 662	8 051	28 762	4 256
18	451 696	368 113	36 451	31 751	28 382	11 977	11 678	14 362	10 265	18 121	7 142	27 908	4 496
19	439 979	354 892	33 349	29 331	26 808	12 125	11 980	13 395	9 990	18 118	6 907	27 189	4 794
20	413 587	336 452	31 628	29 464	25 105	13 158	14 976	13 530	8 437	18 462	7 242	25 360	5 069
対前年比(%) 20/19	94	95	95	100	94	109	125	101	84	102	105	93	106
月末在庫量 (年平均値)													
平・16	1 227 928	1 058 590	74 680	84 495	81 865	41 544	50 944	50 575	45 076	32 686	22 955	86 484	24 485
17	1 245 552	1 073 829	102 222	85 438	84 896	41 885	44 528	41 697	40 564	36 930	22 387	84 801	24 705
18	1 239 084	1 069 242	102 508	93 683	84 197	41 036	46 486	44 541	35 406	32 958	20 945	83 003	24 863
19	1 202 489	1 029 928	100 846	94 390	80 764	45 443	39 291	39 604	34 612	29 955	20 415	81 189	25 615
20	1 173 224	1 010 426	99 936	89 616	73 489	50 506	49 116	40 726	37 144	29 541	19 585	78 022	28 477
対前年比(%) 20/19	98	98	99	95	91	111	125	103	107	99	96	96	111

#### (1) さば類（冷凍品）

月末在庫量（年平均値）は9万9,936 tで、前年に比べ1%減少した。

月別にみると、月末在庫量は12月が最も多く5月が最も少ない。（表7、図9、10）

図9 さば類（冷凍品）の月間入・出庫量及び月末在庫量（年平均値）の推移

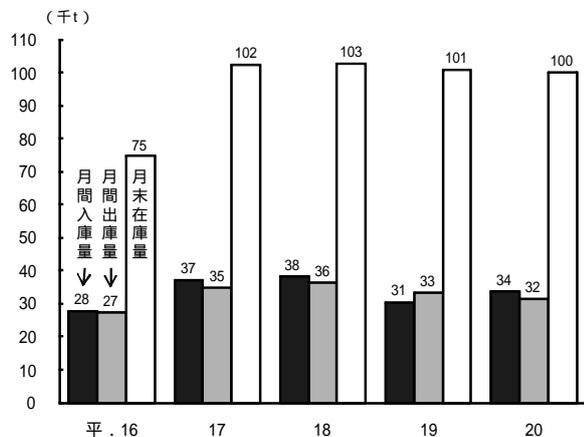
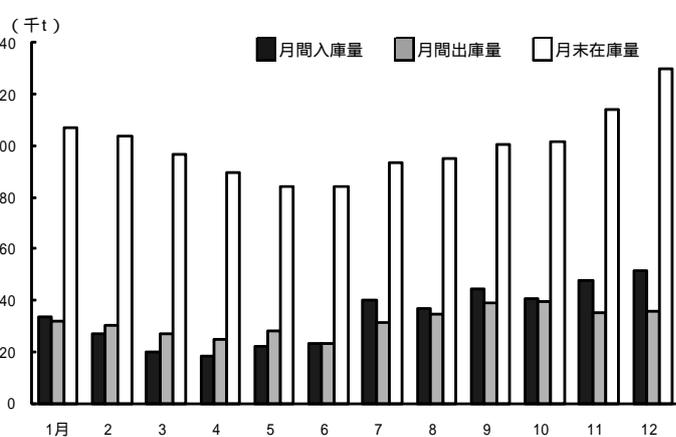


図10 さば類（冷凍品）の月別月間入・出庫量及び月末在庫量の推移（平成20年）



(2) さけ類（冷凍品）

月末在庫量（年平均値）は8万9,616tで、前年に比べ5%減少した。

月別にみると、月末在庫量は2月が最も多く7月が最も少ない。（表7、図11、12）

図11 さけ類（冷凍品）の月間入・出庫量及び月末在庫量（年平均値）の推移

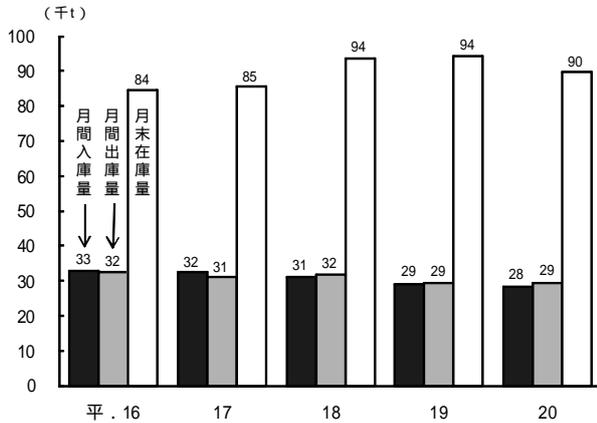
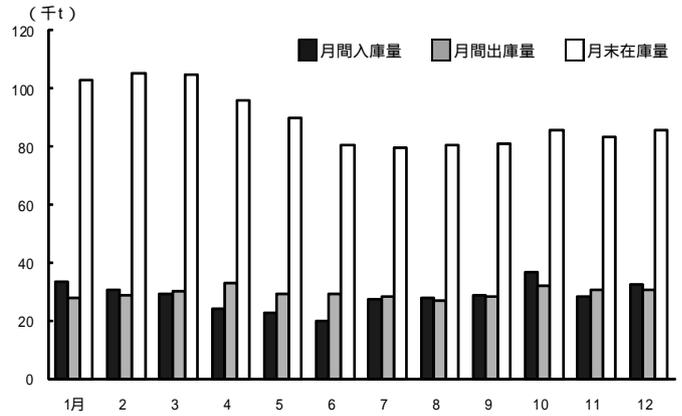


図12 さけ類（冷凍品）の月別月間入・出庫量及び月末在庫量の推移（平成20年）



(3) えび類（冷凍品）

月末在庫量（年平均値）は7万3,489tで、前年に比べ9%減少した。

月別にみると、月末在庫量は11月が最も多く5月が最も少ない。（表7、図13、14）

図13 えび類（冷凍品）の月間入・出庫量及び月末在庫量（年平均値）の推移

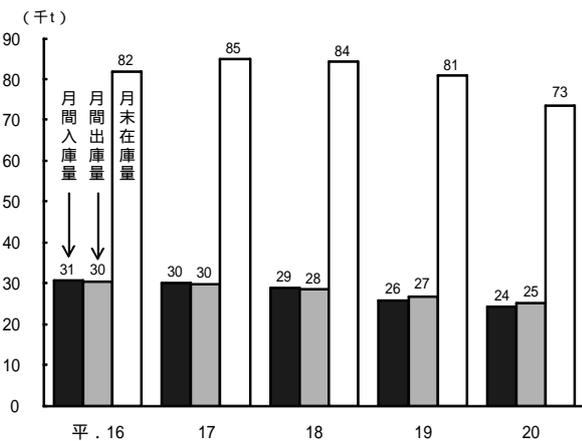
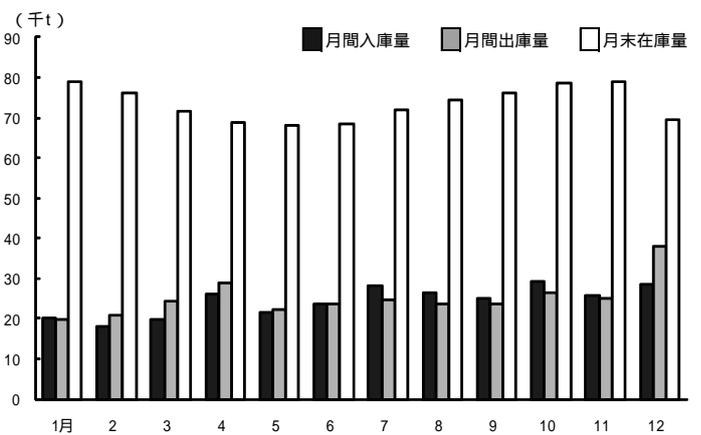


図14 えび類（冷凍品）の月別月間入・出庫量及び月末在庫量の推移（平成20年）



(4) するめいか（冷凍品）

月末在庫量（年平均値）は5万506tで、前年に比べ11%増加した。

月別にみると、月末在庫量は1月が最も多く7月が最も少ない。（表7、図15、16）

図15 するめいか（冷凍品）の月間入・出庫量及び月末在庫量（年平均値）の推移

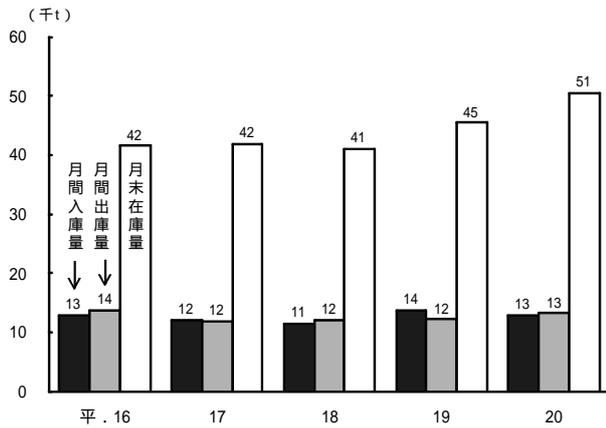
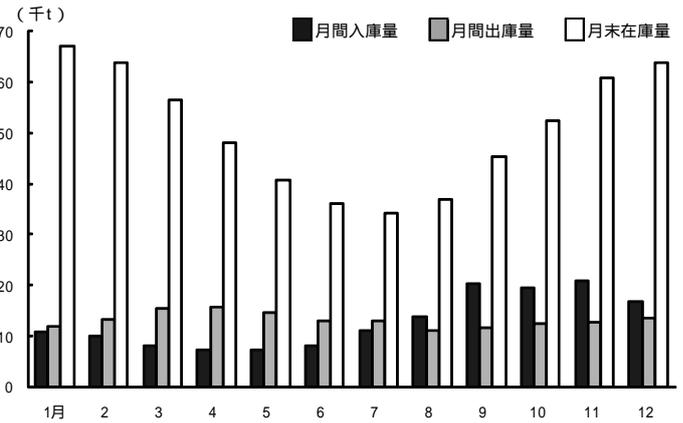


図16 するめいか（冷凍品）の月別月間入・出庫量及び月末在庫量の推移（平成20年）



(5) さんま（冷凍品）

月末在庫量（年平均値）は4万9,116tで、前年に比べ25%増加した。

月別にみると、月末在庫量は12月が最も多く8月が最も少ない。（表7、図17、18）

図17 さんま（冷凍品）の月間入・出庫量及び月末在庫量（年平均値）の推移

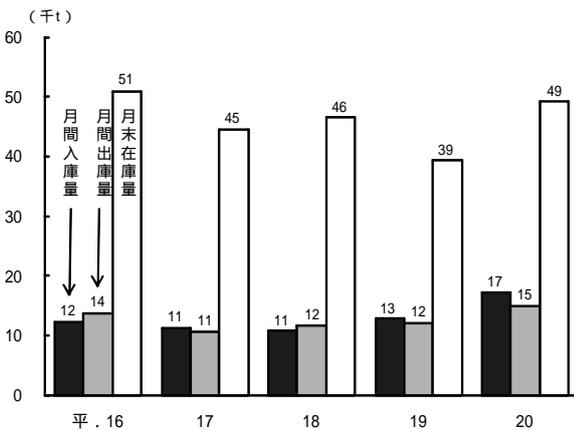
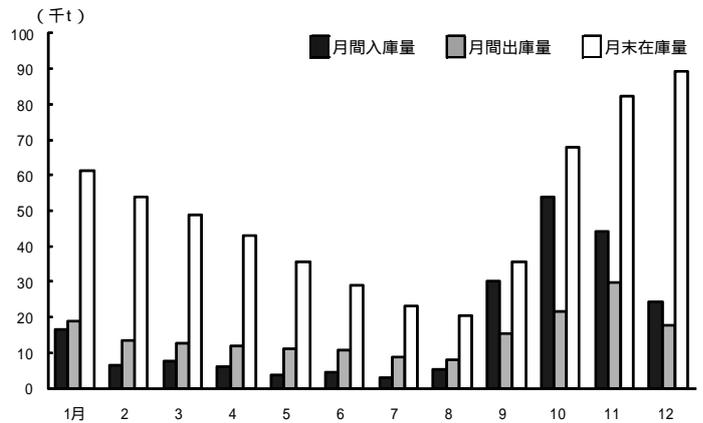


図18 さんま（冷凍品）の月別月間入・出庫量及び月末在庫量の推移（平成20年）



(6) すけとうだらすり身（冷凍品）

月末在庫量（年平均値）は4万726 tで、前年に比べ3%増加した。

月別にみると、月末在庫量は12月が最も多く2月が最も少ない。（表7、図19、20）

図19 すけとうだらすり身（冷凍品）の月間入・出庫量及び月末在庫量（年平均値）の推移

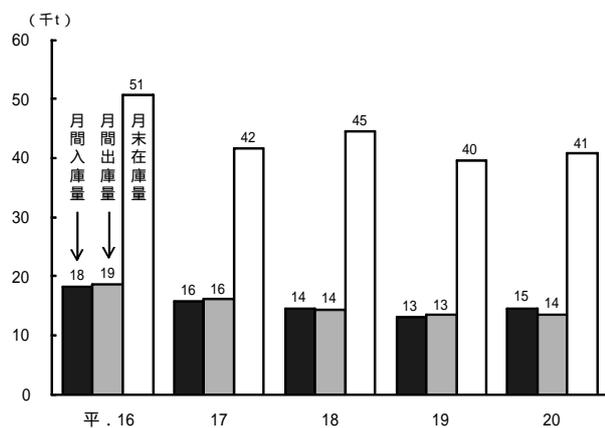
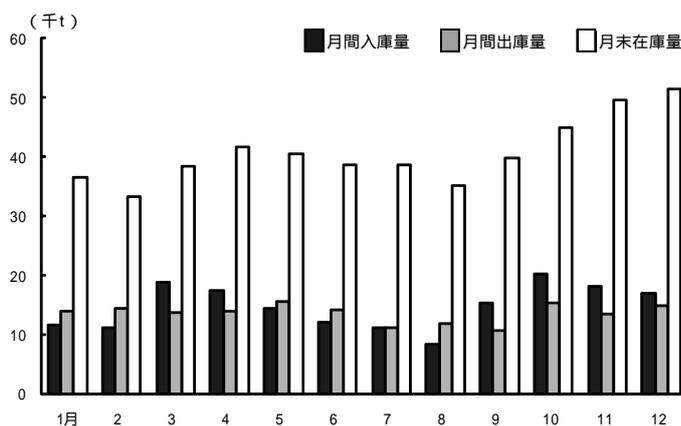


図20 すけとうだらすり身（冷凍品）の月別月間入・出庫量及び月末在庫量の推移（平成20年）



## 4 水産加工品生産量の動き

### (1) 食用加工品生産量

平成20年の食用加工品の生産量（焼・味付のりを除く。以下同じ。）は194万485 tで、前年に比べ1%増加した。

食用加工品生産量の加工種類別の構成割合をみると、ねり製品が29.1%と最も高く、次いで冷凍食品が17.2%、塩干品が10.9%、塩蔵品が10.0%となっており、この4種類で生産量全体の約7割を占めている。（表8、図21）

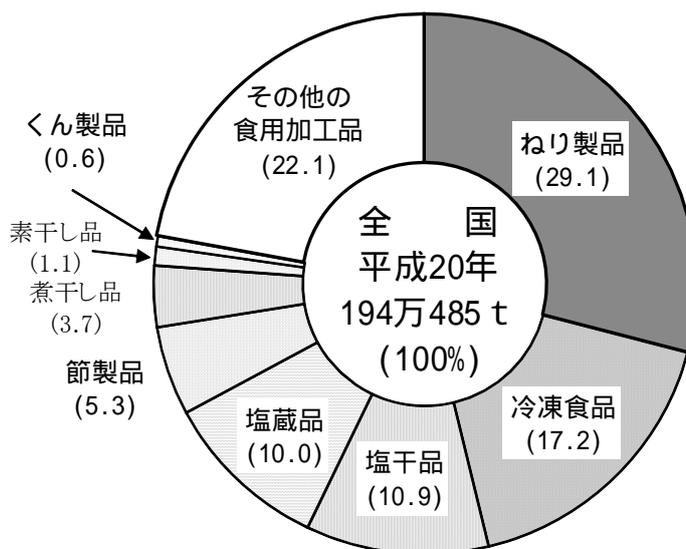
表8 食用加工品の加工種類別生産量の推移

加工種類 年次	1) 計	ねり製品	冷凍食品	素干し品	塩干品	煮干し品	塩蔵品	くん製品	節製品	その他の 食用加工品	2) 焼・味付のり
生産量 (t)											千枚
平.16	2 129 597	660 322	303 236	35 031	234 981	62 860	218 396	13 037	109 839	491 895	8 312 553
17	2 090 493	655 247	285 643	32 344	230 124	71 057	208 580	11 805	111 476	484 217	8 422 092
18	1 999 821	617 956	292 985	25 817	222 883	69 038	197 975	7 876	111 862	453 429	8 286 449
19	1 930 546	605 841	283 667	22 585	212 002	72 409	190 370	7 871	107 332	428 469	7 652 951
20	1 940 485	563 829	333 185	22 032	211 461	71 240	194 100	11 806	103 789	429 043	7 976 604
対前年比 (%)											
平.16	100	100	95	104	102	77	105	101	99	104	100
17	98	99	94	92	98	113	96	91	101	98	101
18	96	94	103	80	97	97	95	67	100	94	98
19	97	98	97	87	95	105	96	100	96	94	92
20	101	93	117	98	100	98	102	150	97	100	104

注：1) 食用加工品計には、焼・味付のりの生産量を含んでいない。

2) 焼・味付のりの生産量は、板のりに換算した枚数である。

図21 食用加工品生産量の加工種類別構成割合



## ア ねり製品

ねり製品の生産量は56万3,829 tで、前年に比べ7%減少した。

品目別にみると、ねり製品生産量の約9割を占めるかまぼこ類は49万1,662 tで、前年に比べ8%減少した。

魚肉ハム・ソーセージ類は7万2,167 tで、前年に比べ4%増加した。(表9、図22)

図22 ねり製品生産量の品目別構成割合

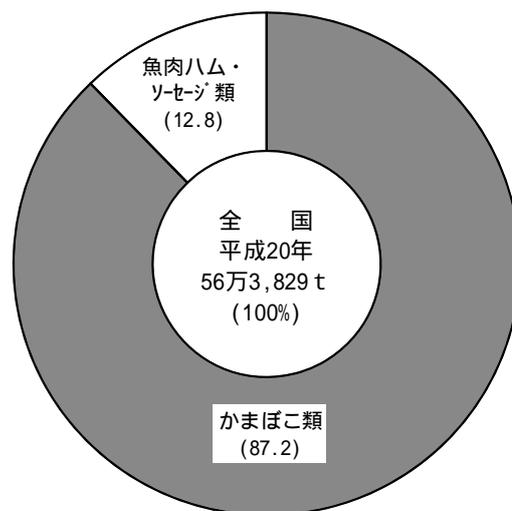


表9 ねり製品の品目別生産量(全国)

区	分	平成20年	19年	対前年差	対前年比	単位	
						生産量: t	対比: %
ねり製品		563 829	605 841	42 012	93		
	かまぼこ類	491 662	536 679	45 017	92		
	魚肉ハム・ソーセージ類	72 167	69 162	3 005	104		

## イ 冷凍食品

冷凍食品の生産量は33万3,185 tで、前年に比べ17%増加した。

品目別にみると、魚介類(切り身、むきえび等の加工品)は17万7,684 t、水産物調理食品は15万5,501 tで、前年に比べそれぞれ20%、15%増加した。(表10、図23)

図23 冷凍食品生産量の品目別構成割合

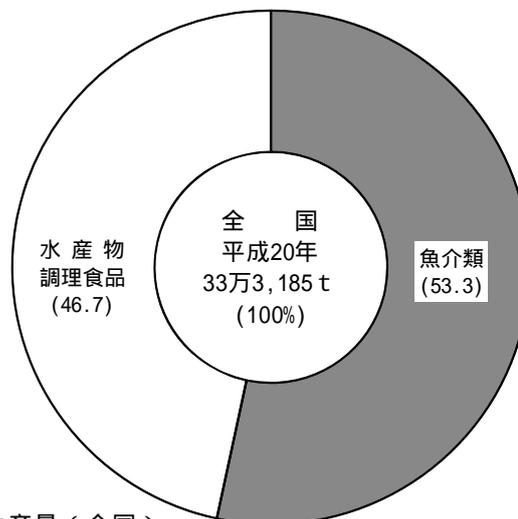


表10 冷凍食品の品目別生産量(全国)

区	分	平成20年	19年	対前年差	対前年比	単位	
						生産量: t	対比: %
冷凍食品		333 185	283 667	49 518	117		
	魚介類	177 684	148 456	29 228	120		
	水産物調理食品	155 501	135 211	20 290	115		

### ウ 素干し品

素干し品の生産量は2万2,032 tで、前年に比べ2%減少した。

品目別にみると、するめは1万341 tで、前年に比べ3%減少した。

また、品目別構成割合をみると、するめが46.9%と最も高くなっている。(表11、図24)

図24 素干し品生産量の主要品目別構成割合

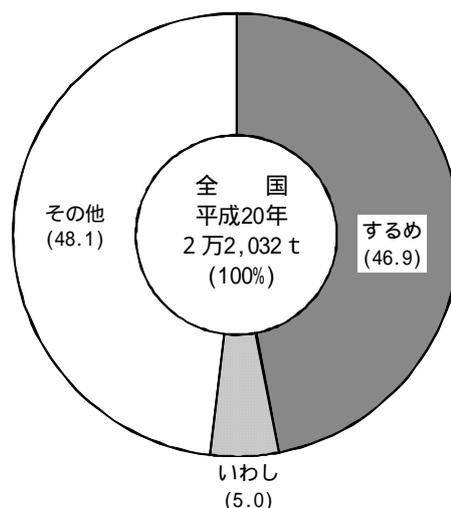


表11 素干し品の主要品目別生産量 (全国)

区 分	平成20年	19年	対前年差	単位	
				生産量: t	対比: %
素 干 し 品	22 032	22 585	553		98
うち す る め	10 341	10 613	272		97
い わ し	1 091	1 063	28		103

### エ 塩干品

塩干品の生産量は21万1,461 tで、前年並みであった。

品目別にみると、あじは4万6,715 tで、前年に比べ8%減少し、さんまは2万7,316 tで、前年に比べ32%増加した。

また、品目別構成割合をみると、あじが22.1%で最も高く、次いでほっけが21.7%、さんまが12.9%、いわしが10.5%となっている。(表12、図25)

図25 塩干品生産量の主要品目別構成割合

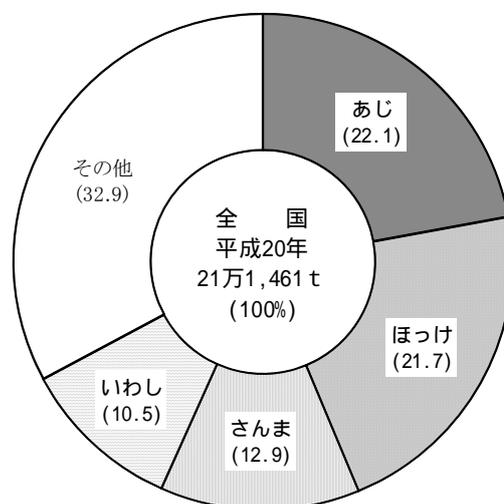


表12 塩干品の主要品目別生産量 (全国)

区 分	平成20年	19年	対前年差	単位	
				生産量: t	対比: %
塩 干 品	211 461	212 002	541		100
うち い わ し	22 135	23 468	1 333		94
あ じ	46 715	50 965	4 250		92
さ ん ま	27 316	20 752	6 564		132
ほ っ け	45 812	45 564	248		101

オ 煮干し品

煮干し品の生産量は7万1,240 tで、前年に比べ2%減少した。

品目別にみると、いわしは2万6,650 tで、前年に比べ18%減少し、しらす干しは、3万1,734 tで、前年に比べ12%増加した。

また、品目別構成割合をみると、しらす干しが44.5%で最も高く、次いでいわしが37.4%となっている。(表13、図26)

図26 煮干し品生産量の主要品目別構成割合

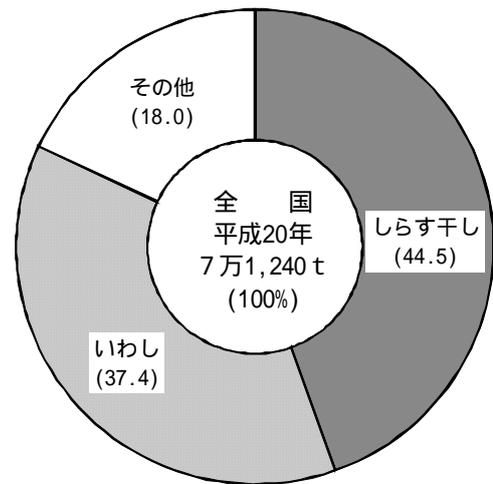


表13 煮干し品の主要品目別生産量 (全国)

区 分	平成20年	19年	対前年差	単位	
				生産量: t	対比: %
煮 干 し 品	71 240	72 409	1 169		98
うち い わ し	26 650	32 664	6 014		82
し ら す 干 し	31 734	28 458	3 276		112

カ 塩蔵品

塩蔵品の生産量は19万4,100 tで、前年に比べ2%増加した。

品目別にみると、さけ・ますは9万8,046 tで、前年に比べ3%減少し、さばは3万6,201 tで、前年に比べ38%増加した。

また、品目別構成割合をみると、さけ・ますが50.5%と最も高く、次いでさばが18.7%、さんまが8.0%、たら・すけとうだらが4.1%となっている。(表14、図27)

図27 塩蔵品生産量の主要品目別構成割合

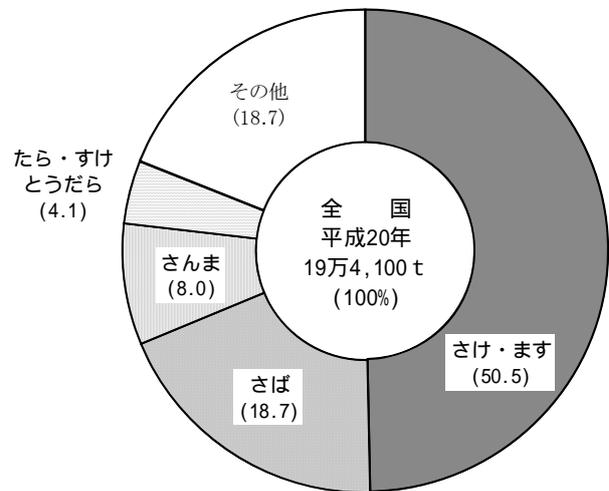


表14 塩蔵品の主要品目別生産量 (全国)

区 分	平成20年	19年	対前年差	単位	
				生産量: t	対比: %
塩 蔵 品	194 100	190 370	3 730		102
うち さ ば	36 201	26 305	9 896		138
さ け ・ ま す	98 046	101 363	3 317		97
た ら ・ す け とう だ ら	8 038	9 560	1 522		84
さ ん ま	15 436	13 032	2 404		118

キ くん製品

くん製品の生産量は1万1,806 tで、前年に比べ50%増加した。(表15)

表15 くん製品の生産量(全国)

区 分	単位			
	平成20年	19年	対前年差	対前年比
く ん 製 品	11 806	7 871	3 935	150

ク 節製品

節製品の生産量は10万3,789 tで、前年に比べ3%減少した。

品目別にみると、節類は6万7,718 tで、前年に比べ2%増加し、けずり節は3万6,071 tで、前年に比べ12%減少した。(表16、図28)

図28 節製品生産量の品目別構成割合

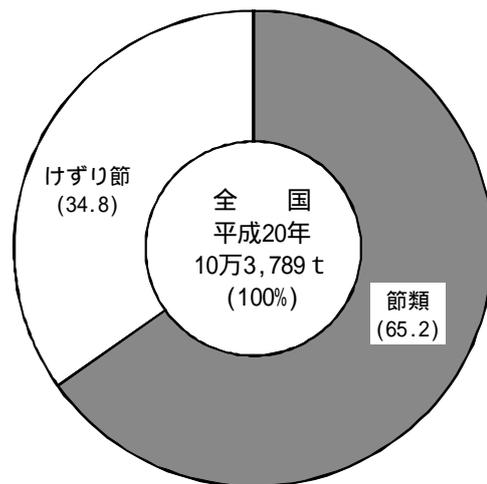


表16 節製品の品目別生産量(全国)

区 分	単位			
	平成20年	19年	対前年差	対前年比
節 製 品	103 789	107 332	3 543	97
節 類	67 718	66 449	1 269	102
け ず り 節	36 071	40 883	4 812	88

ケ 焼・味付のり

焼・味付のりの生産量は79億7,660万4千枚で、前年に比べ4%増加した。(表17)

表17 焼・味付のりの生産量(全国)

区 分	単位			
	平成20年	19年	対前年差	対前年比
焼 ・ 味 付 の り	7 976 604	7 652 951	323 653	104

注:生産量は、板のりに換算した枚数である。

## (2) 生鮮冷凍水産物

生鮮冷凍水産物の生産量は165万5,415 tで、前年並みであった。

品目別にみると、まあじ・むろあじ類は8万105 t、さば類は40万5,507 t、さんまは19万5,704 tで、前年に比べそれぞれ12%、17%、9%増加し、さけ・ます類は13万4,779 t、いわし類は22万242 tで、前年に比べそれぞれ21%、18%減少した。

また、品目別構成割合をみると、さば類が24.5%と最も高く、次いでいわし類が13.3%、さんまが11.8%、さけ・ます類が8.1%、まあじ・むろあじ類及びいか類が共に4.8%となっている。(表18、図29)

表18 生鮮冷凍水産物の品目別生産量の推移

品目 年次	生産量 (t)								
	計	さけ・ ます類	いわし類	まあじ・ むろあじ類	さば類	さんま	たら類	ほっけ	いか類
生産量 (t)									
平.16	1 628 978	152 711	309 661	172 970	223 197	107 359	53 662	44 622	91 540
17	1 625 150	158 795	235 359	122 290	368 694	118 423	53 318	35 517	89 340
18	1 679 191	154 929	249 400	87 597	441 683	124 585	68 649	40 038	69 366
19	1 657 243	169 977	267 527	71 581	347 249	179 245	72 531	48 776	86 996
20	1 655 415	134 779	220 242	80 105	405 507	195 704	63 144	38 341	79 273
対前年比 (%)									
平.16	105	102	97	125	107	82	134	97	122
17	100	104	76	71	165	110	99	80	98
18	103	98	106	72	120	105	129	113	78
19	99	110	107	82	79	144	106	122	125
20	100	79	82	112	117	109	87	79	91

注： 生鮮冷凍水産物は、水産物の生鮮品（丸、フィレー、すり身等）を凍結室において凍結したものである。

図29 生鮮冷凍水産物生産量の主要品目別構成割合

